

循環型の環境保全に向けて、
新しい水ビジネス！

排水処理は日之出産業へ

日之出産業

来年、創立40周年を迎える日之出産業(横浜市都筑区池辺町、大林世一社長、電話045・507・3031、FAX045・507・3032)は、創業以来、水処理を通じて環境保全に取組んできた。

水の惑星と言われる地球だが、私たち人類が使える排水の量はその中のわずか0.75%に過ぎない。同社の排水処理剤「エルビック」シリーズは、国内で主に工場から出る排水を行政が定める規制値にし、自然界に返すことで、多くの企業から高い評価を得てきた。近年では、省電力、また排水処理設備をコンパクト化した日之出ツインマイクロパワーシステムや分散菌処理法の実現など、設備の開発、技術にも力を入れている。

同社の強みでもある分析室では、お客様の環境に合ったオーダーメイドのきめ細かい対応と適正な薬剤の選定と提案を行う。新薬剤開発と製造で、日々努力を続けている微生物研究室、スピーディーな対応と確実なデリバリーで、社内を支える資材課、そして、お客様の声をキャッチし、よりよい環境にコーディネートすること

で、確固たる信頼を築いている営業部。こうして、有限である水の確保と再生により循環型社会を実現するため、同社の各部署は強い協力体制で常に新しい技術をめざしている。

横浜価値組企業、横浜地財みらい企業として5年連続認定され、今年には横浜型CSR地域貢献企業にも最上位で認定された。平成25年より横浜市中小企業海外市場開拓支援事業の認定も受けた。国連、工業開発機構(UNIDO)の



「エルビック」シリーズ



横浜型地域貢献企業認定証

ホームページ(http://www.unido.or.jp/en/technology_db/404/)では、環境技術データベース「環境汚染対策」に同社の取組みが紹介されている。今後、国内のシェアはもとより、海外、そして国際協力にも事業を拡大していく。